

る健康診査・がん検診等事業費の減額計上は予防医学の潮流に反していないか

- (3) 総合計画にも謳われる健康診査・がん検診等の受診率向上に資する取り組みは
- (4) 急性期病院の受け皿としての後方支援病院が不足している等の現状に鑑みて、療養病床の維持・増加が必要であると考えるが

**問** 療養病床の維持・増加が必要であると考えるが

**答** 国の医療費適正化計画で療養病床の再編成が進められている。必要に応じ介護保険施設等へ転換するので病床数は維持できると考えるが、今後の動向を注視したい。

- (5) 県中勢に「救命救急センター」がない現況の打開に向け津市の強い気概を示せ

**問** 救命救急センターがない現状の打開に向け市の強い気概を示せ

**答** 県政要望でも救命救急センターの設置実現を強く要望した。三重大学医学部附属病院への早期設置に向け、あらゆる機会を通して県とともに促進を図っていきたい。

### 3 病院前救護活動について

- (1) 近年、複雑多様化する救急業務において各疾患に対する病院前救護活動の成果と検証は
- (2) 昨年3月に消防庁から示された実質調査結果において津市の現状をどの様に分析するか
- (3) 救急患者受け入れコーディネーターの配置についての認識と見解は

### 4 介護保険制度について

- (1) 今回の改定は、利用限度額が増えない中での改定であり、利用者と介護提供者側との間で利害の対立が生じると考える。これをどの様に解消・調整するのか
- (2) 地域包括支援センター・在宅

介護支援センターに関わる人員と費用はどれだけか

- (3) 要介護の認定を受けている高齢者及びデイサービスの事業者が機能回復訓練に公園を利用することは可能か
- (4) 介護関連の資格取得に支援をすべきと考えるが

### 5 セーフティネットのあり方について

- (1) 緊急雇用対策への取り組みは
- (2) 多重債務者の救済と生活再建に資するため滞納情報の活用を
- (3) 困窮している方々をより多く生活保護の対象とする為にも「他法活用の原則」に基づく不正受給者の徹底排除と適正運用を求める

### 6 組織風土のあり方について

- (1) 地方公務員法第40条の勤務評定と人材評価の違いは何か
- (2) 人材育成基本計画と人材評価のリンクは
- (3) 複線型人事によるエキスパートの育成は
- (4) 目標管理の手法を用いた業績評価及び成果主義に対する見解は
- (5) 高い業績を上げる人物に共通してみられる行動特性や成果につながる能力とされるコンピテンシーについての認識と見解は

### 7 特殊勤務手当のあり方について

- (1) 一例として土日祝日出勤毎に1,000円を支給するのは何故か
- (2) 時代にそぐわず市民感覚から

大きく乖離した手当は廃止すべき

- (3) 市民や民間事業者の悲痛な声を兼聴する気持ちはないか

### 8 電子自治体戦略について

- (1) 津市情報化推進計画の進捗状況と課題は
- (2) 当該計画に位置付けられている情報システム等の「最適化」は完成しているのか
- (3) 「機器そのもの」「導入機器の統合」「機器活用による環境軽減」の3つの視点があるグリーンITへの具体的な取り組みは
- (4) 電子化についての広報と周知のあり方は

### 9 水害に強い街づくりについて

- (1) 計画降雨・降雨パターン・洪水流出解析は気象変化に対応していくべきものと考えますが、確率降雨などの治水安全度確保についての見直しが必要ではないか
- (2) 雨水整備計画の現状と今後の主な整備計画は

### 10 教育方針及び教育課題について

- (1) 教育基本法の精神はどの様に尊重されているか
- (2) 学力・体力低下などの教育課題に対する具体的取り組みは
- (3) 学校給食センターについて、基本方針に謳われている「安全安心な給食の実現」や「おいしい給食の提供」と「経済性」は両立し得るのか

### 11 国旗・国歌の指導のあり方に

▶救命救急センターの早期設置を(三重大学医学部附属病院)

